

日刊 動労千葉

86. 1. 31

No. 2153

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五・六（公衆）〇四七二（22）七二〇七



「自らの生涯をかけ、労働者の正義を貫き、向いの先頭に立つ」—20名の仲間が決意

会場あふれる 800名が結集 1.29不当処分粉砕抗議集会



被処分者を守り、中曽根打倒まで初志貫徹ガンバロー！「オニ波」で目にもの見せよ！

怒りも倍化をも、被処分者先頭に いざ「オニ波」へ進撃しよう！

一月二八日、国鉄当局は、動労千葉の11・28/29ストに対し、解雇二〇名をはじめ一二〇名の大量不当処分を通告してきた。動労千葉つぶしを狙う政治的報復処分を断じて許すわけにはいかない。動労千葉は二九日始発より抗議の順法闘争に突入すると同時に、夕刻、市民会館をうめつくす八〇〇名の結集もって緊急抗議集会を開催し、第二波闘争の爆発で線見！業務移管攻撃粉砕を宣言した。

「動労千葉の闘いこそ正義」

一日を追って拡大する支持・共感！集会に先立って「11・28/29スト」の記録映画が上映され、組合員・支援の仲間がホールを埋めるなか、水野副委員長の司会で集会が始まった。

成田用水決戦の渦中、三里塚からかけた反対同盟の北原事務局長は「処分は動労千葉つぶしだ。中曽根は恐怖し弾圧にのり出しているが、われわれの闘いは正義だ。動労千葉の家族の皆さんも、夫を支え闘いぬいて下さい」と激励された。

全造船石川島分会の佐藤委員長は「動労千葉への支持・共感、11・28/29スト当時より拡大している。皆さんへの攻撃は動労千葉を叩きつぶし、階級的・戦闘的労働運動を叩きつぶし、戦争のできる国家づくりの攻撃だ。一億円基金カンパを全国の仲間へ訴え、中曽根と対決する労働運動をつくろう」と訴えられた。

二〇三月闘争への決起で 目にもの見せよう

—中野委員長が基調報告—

万雷の拍手をうけて、中野委員長が登場し、基調報告を行った。
中野委員長は、解雇二〇名をはじめ一二〇名に及ぶ大量処分がいかにデタラメなものであり、動労千葉破壊のための政治的なものであるのかを具体的に明らかにしたうえで、二〇三月闘争への決起を中曽根・杉浦に見せつけることで動労千葉の回答としようとした。

とりわけ、二月四日からの線見阻止闘争を総力で闘いぬくこと。さらには、二〇三月闘争を闘いぬいたうえで、全国的



千葉市内デモから千鉄局包囲弾劾デモへ—800名の怒りのデモが出發

大流動化をかちとり巨大な反撃に打って出よう。こうした闘いこそ処分粉砕の道だと訴えた。

「勝利の日まで、最先頭で闘う」

—不当解雇攻撃うけた二〇名の仲間が断固たる決意を表明—
解雇者二〇名が壇上に整列し、代表して、津田沼支部・山下支部長、千葉運転区支部・永田支部長、成田支部・森内支部長、そして本部青年部長・新藤君の四名から決意を受けた。

不当処分を断じて許さない、全組合員の最先頭で勝利の日まで闘いぬくという燃えるような決意は、全参加者の心をとらえ、会場われんばかりの拍手で確認された。
中野委員長の団結ガンバローで集会終了後、直ちに千葉鉄局への怒りのデモ行進を貫徹した。

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！